

1. 研究課題名： 気候変動対策と生物多様性保全の連携を目指した生態系サービス評価手法の開発

2. 研究代表者氏名及び所属：

伊藤 昭彦

(国立環境研究所)



3. 研究実施期間：平成 23～25 年度

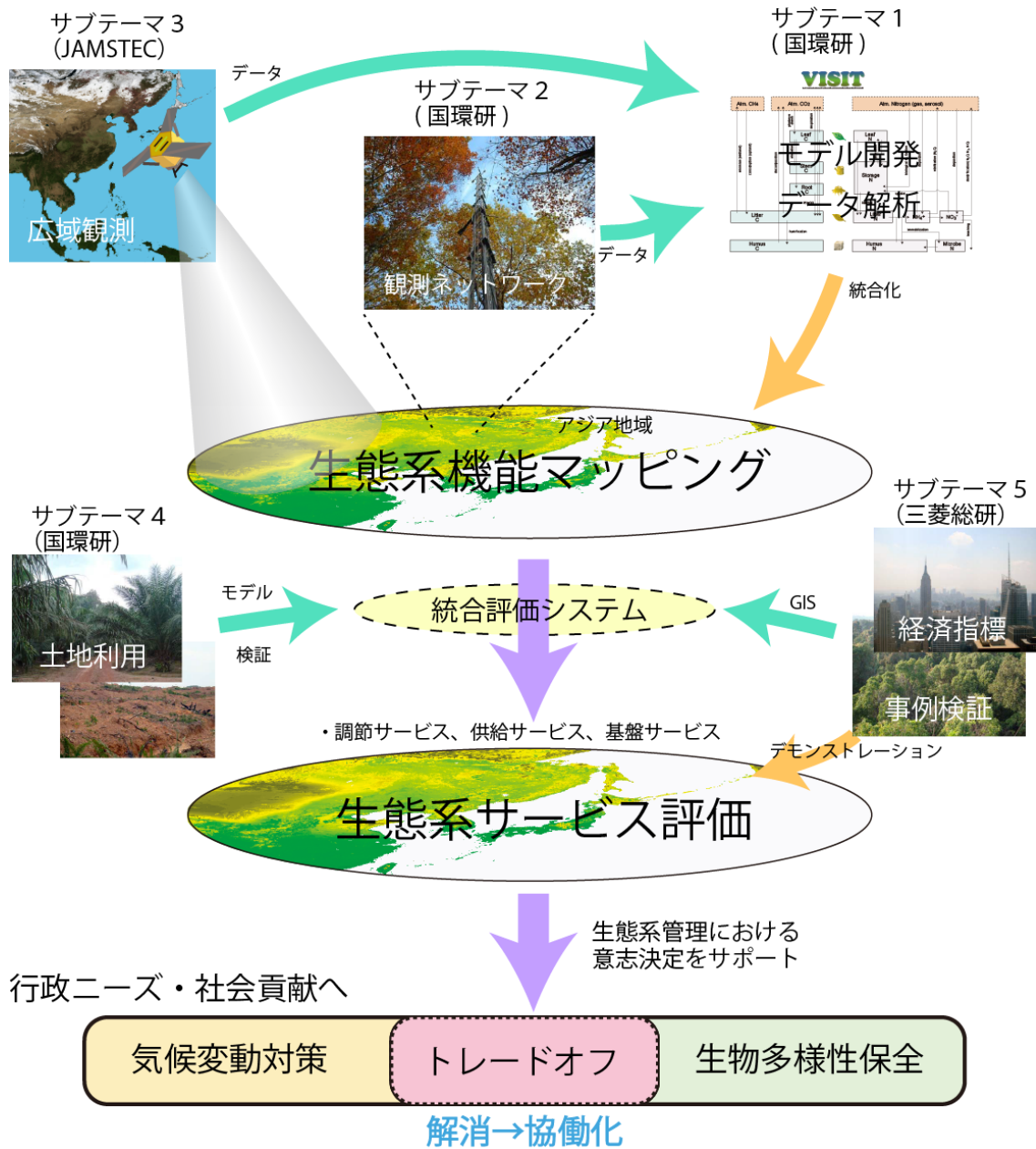
4. 研究の趣旨・概要

気候変動枠組み条約 (UNFCCC) や生物多様性条約 (CBD) では、森林をはじめとする生態系の公益的機能 (生態系サービス) に、対策の成否が大きく依拠しています。しかし、異なる目的の対策を同時に行う場合にはトレードオフの問題が生じ、真に効果的な生態系管理を行うには大きな困難を伴います。本課題では、アジア地域を主な対象地として、自然科学と社会科学の協同のもと、生態系サービスを統合的に評価して、現場の意志決定をサポートするシステム開発に関する研究を実施します。科学的側面として、生態系サービスに関与する機能特性をフィールド観測ネットワークおよび衛星観測で把握して、改良された生態系モデルを用いたマップ化を行います。

5. 研究項目及び実施体制

- ①生態系機能を定量化するためのデータ解析とモデル開発に関する研究 (国立環境研究所)
- ②生態系機能の広域把握のための観測ネットワークとデータベースに関する研究 (国立環境研究所)
- ③生態系機能の広域評価のための衛星リモートセンシングに関する研究 (海洋研究開発機構)
- ④生態系サービス統合評価手法の研究 (国立環境研究所)
- ⑤生態系サービス統合評価システムの開発と事例検証 (三菱総合研究所)

6. 研究のイメージ



○「生態系と生物多様性の経済学 (TEEB)」に関する提言

○REDD(+,++) に応用しうる MRV システムの構築